

強化 開催へ

て、飼養衛生管理基準の徹底に改めて重点を置く考えだ。

飼養豚への地域限定のワクチン接種の是非について、同省は「全国含めて、具体的な範囲は特定

することなく議論する」(動物衛生課)方針だ。埼玉県などで豚コレラが確認されたことを受け、関東農政局は、管内の都県担当者を集めた対策会議をさいたま市で開催。農家に近い都県職員が衛生管理の指導を円滑にできるような情報共有した。

国に支援要請

埼玉県での豚コレラ発

生を受け、同県の大野元裕知事は17日、農水省を訪れ、新井ゆたか消費・安全局長に対し、財政面や人的支援を要請した。飼養豚へのワクチン接種の考え方の整理なども求めた。

大野知事は「国とも二人三脚で対応したい」と強調。新井局長は「埼玉での発生を重く受け止めている。畜産農家が安心できるように取り組んでいきたい」と述べた。

農福連携の人材育成 J A 向け

障害者が農業の現場で働く農福連携を広めよう

と、農水省は17日、初めてのJ A 職員向けの研修会を水戸市内で開いた。全国から集まった18人を対象に、19日まで3日間の日程で実施。生産現場で指南役となる人材を育成する。

J A 職員向けの研修は12月に2回目を開く予定で、参加者を募集している。11月には自治体職員向け、11月と来年2月には農業法人・農業者向けにも開く。

同省では、障害者の特

逼迫(ひっぱく)がみをなくす動きが広がっている。小泉環境相は、いることを踏まえ、「日本の負担が増してき が特に主導的な役割を果た

成のための教育課程を今年度中にまとめる。

17日に行われた研修では、農福連携の現状や課題、障害者の就労支援施策などの基本について農水省や厚生労働省の担当者が説明。6次産業化に取り組む京都府京田辺市の就労支援事業所「さんさん山城」の新免修施設長らが、農業が障害者にもたらず身体・精神的な効果や作業留意点などを紹介した。

同省は「現場の実情に合わせて、より障害者が活躍できるよう配慮できる人材を育成していききたい」(都市農村交流課)と強調する。

参加した北海道湧別町のJ A ゆうべつ町の野田直人参事は「農福連携は障害者が独り立ちできる

小話往来

第4次安倍再改造内閣で農水副大臣に自民党の加藤寛治氏、農水政務官に同党の藤木眞也氏が就任した。二人は共にJ A 組合長の経験者。国政に転じる前、加藤氏は長崎県のJ A 島原雲仙、藤木氏は熊本県のJ A かみましの組合長だった。今回の内閣改造では、農相候補に自民党農林部会長の野村哲郎氏の名前が挙がった。野村氏はJ A 鹿児島中央会の常務から国政に転じた。同党には、J A

可能性があり、農業の人手不足も補える。優良事例を学び、取り組むきっかけにしたい」と話した。

統一会派巡る 3 党派会談 調整付かず延期

立憲民主党、国民民主党、衆院会派「社会保障を立て直す国民会議」は

複数の関係者によると、参院の会派人事を巡り、立憲が先に決めた長